

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成21年12月25日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アオキスーパー

コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇佐美 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長兼経理部長

(氏名) 大谷 亮

四半期報告書提出予定日 平成22年1月4日

TEL 0567-23-3500

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年2月21日～平成21年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	66,899	—	1,299	—	1,343	—	720	—
21年2月期第3四半期	67,578	11.3	2,052	△2.3	2,128	△1.0	1,142	8.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年2月期第3四半期	54.08	53.82
21年2月期第3四半期	84.19	83.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年2月期第3四半期	22,934	14,332	62.5	1,077.78
21年2月期	23,573	14,056	59.6	1,044.98

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 14,332百万円 21年2月期 14,056百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年2月期	—	10.00	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年2月21日～平成22年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	92,300	1.0	1,770	△34.8	1,820	△35.1	950	△35.5	71.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	14,000,000株	21年2月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	701,464株	21年2月期	548,760株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	13,316,202株	21年2月期第3四半期	13,573,658株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

・業績予想については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しが見られるものの、依然として企業業績や雇用情勢は厳しく、また、政府が「日本経済は緩やかなデフレ状況にある」と宣言するなど、持続的な物価下落による景気への悪影響が懸念されております。

当流通業界におきましては、業種・業態を超えた値下げ等による店舗間競争がさらに激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況におきまして当社グループは、新設店として7月に日進岩藤店をオープンし、4月に一色新町店・6月に鳴子店をリニューアルオープンいたしました。

販売促進企画としてスクラッチお買い物券プレゼント・中日劇場や御園座の観劇ご招待を実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・月に一度の日曜朝市・週に一度の100円均一等の企画を継続実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益668億99百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益12億99百万円(前年同期比36.7%減)、経常利益13億43百万円(前年同期比36.9%減)、四半期純利益7億20百万円(前年同期比37.0%減)と減収減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 食料品等の販売を目的とした小売業部門

新設店と改装店の効果と低価格販売の実施により、営業収益は662億28百万円、営業利益は10億59百万円となりました。

② 不動産賃貸部門

店舗の新設や改装等により、営業収益は6億71百万円、営業利益は2億39百万円となりました。

(注)記載金額は、すべて消費税等を含まない金額としております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度に比べ、6億66百万円減少し、89億76百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ、27百万円増加し、139億57百万円となりました。これは、主に建設仮勘定の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べ、6億38百万円減少し、229億34百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度に比べ、7億96百万円減少し、62億17百万円となりました。これは、主に未払法人税等の支払によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ、1億19百万円減少し、23億83百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度に比べ、9億15百万円減少し、86億1百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度に比べ、2億76百万円増加し、143億32百万円となりました。

また、1株当たり純資産額は、前連結会計年度に比べ、32円80銭増加し、1,077円78銭となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ、2.9%増加いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の四半期末残高は、74億45百万円となりました。これは主に、フリーキャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いたもの）が、1億98百万円の減少となったこと、及び、財務活動によるキャッシュ・フローが4億70百万円減少したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、6億13百万円となりました。これは、主に営業収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、8億12百万円となりました。これは、主に店舗等の設備投資による有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、4億70百万円となりました。これは、主に自己株式の買付け等による自己株式の取得2億46百万円と配当金の支払額2億67百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

引き続き個人消費は低迷し、厳しい状況が続くことが予想されますが、商品政策においては、鮮度・味・価格にこだわり、競合他社に負けない売場づくりに努めます。徹底したコスト削減や人材教育を通して経営体質の強化を図り、業績の向上を目指してまいります。

通期の業績見通しといたしましては、連結営業収益923億円（前年同期比1.0%増）、営業利益17億70百万円（前年同期比34.8%減）、経常利益18億20百万円（前年同期比35.1%減）、当期純利益9億50百万円（前年同期比35.5%減）の増収減益を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、従来、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響は、軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,445,396	8,114,226
売掛金	959	763
商品	1,117,205	1,096,805
貯蔵品	13,856	13,301
その他	399,411	418,108
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	8,976,769	9,643,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,928,426	6,998,485
土地	3,292,303	3,292,303
その他(純額)	863,054	689,640
有形固定資産合計	11,083,784	10,980,429
無形固定資産	314,478	295,389
投資その他の資産		
差入保証金	1,835,310	1,918,690
その他	768,682	778,952
貸倒引当金	△44,720	△43,360
投資その他の資産合計	2,559,273	2,654,282
固定資産合計	13,957,536	13,930,101
資産合計	22,934,305	23,573,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,576,864	4,754,401
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	21,511	709,800
賞与引当金	337,034	177,640
役員賞与引当金	22,125	55,200
その他	1,210,017	1,266,686
流動負債合計	6,217,553	7,013,727
固定負債		
長期借入金	125,000	150,000
退職給付引当金	387,799	397,126
長期預り保証金	1,621,707	1,705,514
その他	249,344	250,541
固定負債合計	2,383,852	2,503,182
負債合計	8,601,405	9,516,909

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372,000	1,372,000
資本剰余金	1,604,090	1,604,090
利益剰余金	11,913,767	11,473,110
自己株式	△569,776	△404,402
株主資本合計	14,320,080	14,044,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,819	11,539
評価・換算差額等合計	12,819	11,539
純資産合計	14,332,900	14,056,336
負債純資産合計	22,934,305	23,573,246

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)
売上高	64,766,199
売上原価	54,485,271
売上総利益	10,280,928
その他の営業収入	2,133,494
営業総利益	12,414,422
販売費及び一般管理費	11,115,273
営業利益	1,299,149
営業外収益	
受取利息	16,338
受取配当金	569
その他	36,326
営業外収益合計	53,234
営業外費用	
支払利息	3,813
収納差金	3,068
自己株式取得費用	1,724
その他	10
営業外費用合計	8,617
経常利益	1,343,766
特別利益	
固定資産売却益	1,637
特別利益合計	1,637
特別損失	
固定資産除却損	52,600
その他	4,360
特別損失合計	56,960
税金等調整前四半期純利益	1,288,443
法人税、住民税及び事業税	606,172
法人税等調整額	△37,926
法人税等合計	568,246
四半期純利益	720,197

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成21年2月21日
至平成21年11月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,288,443
減価償却費	651,982
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,360
賞与引当金の増減額(△は減少)	159,394
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,075
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,326
受取利息及び受取配当金	△16,908
支払利息	3,813
固定資産除却損	34,356
固定資産売却損益(△は益)	△1,637
売上債権の増減額(△は増加)	△196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,954
未収入金の増減額(△は増加)	72,123
仕入債務の増減額(△は減少)	△177,536
未払金の増減額(△は減少)	△29,219
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,557
未払費用の増減額(△は減少)	12,198
その他	△17,861
小計	1,910,399
利息及び配当金の受取額	7,907
利息の支払額	△2,006
法人税等の支払額	△1,302,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△810,737
有形固定資産の売却による収入	3,252
無形固定資産の取得による支出	△10,818
貸付けによる支出	△1,790
貸付金の回収による収入	3,001
差入保証金の差入による支出	△30,280
差入保証金の回収による収入	122,593
預り保証金の返還による支出	△102,018
預り保証金の受入による収入	16,403
その他	△1,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△812,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△25,000
自己株式の取得による支出	△246,349
自己株式の売却による収入	68,850
配当金の支払額	△267,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△668,829
現金及び現金同等物の期首残高	8,114,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,445,396

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

	小売業 (千円)	不動産賃貸業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	66,228,255	671,438	66,899,694	—	66,899,694
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	67,064	67,064	(67,064)	—
計	66,228,255	738,502	66,966,758	(67,064)	66,899,694
営業利益	1,059,745	239,404	1,299,149	—	1,299,149

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要な内訳

(1) 小売業……………食料品等の小売事業

(2) 不動産賃貸業……店舗の運営、管理及び不動産賃貸業

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

当企業集団は国内に所在しているため、所在地別セグメント情報については、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)

海外売上高に該当する取引がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高(千円)	1,372,000	1,604,090	11,473,110	△404,402	14,044,797
当第3四半期末までの変動額					
剰余金の配当			△267,414		△267,414
四半期純利益			720,197		720,197
自己株式の取得 (注)				△246,349	△246,349
自己株式の処分			△12,125	80,975	68,850
当第3四半期末までの変動額合計(千円)	—	—	440,657	△165,374	275,283
当第3四半期末残高(千円)	1,372,000	1,604,090	11,913,767	△569,776	14,320,080

(注) 平成20年8月8日開催の取締役会の決議に基づき、平成21年2月21日から平成21年4月30日において当社の普通株式246,000株を238,332千円にて取得しております。

「参考」

前第3四半期に係る財務諸表等

(要約) 前四半期連結損益計算書

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年11月20日)
	金額(千円)
I 売上高	65,460,132
II 売上原価	54,767,971
売上総利益	10,692,160
III その他の営業収入	
1. 不動産賃貸収入	658,651
2. その他収入	1,459,310
営業総利益	12,810,121
IV 販売費及び一般管理費	10,757,885
営業利益	2,052,235
V 営業外収益	86,117
VI 営業外費用	9,500
経常利益	2,128,853
VII 特別利益	1,252
VIII 特別損失	114,879
税金等調整前 四半期純利益	2,015,225
法人税、住民税 及び事業税	902,100
法人税等調整額	△29,663
四半期純利益	1,142,788

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年11月20日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,015,225
減価償却費	667,160
減損損失	22,228
貸倒引当金の増加額	2,010
賞与引当金の増加額	163,949
役員賞与引当金の減少額(△)	△22,200
退職給付引当金の増加額	21,533
受取利息及び受取配当金	△39,845
支払利息	4,034
その他の損益調整	4,887
固定資産除却損・売却損	43,444
固定資産売却益(△)	△1,252
売上債権の増加額(△)	△784
たな卸資産の増加額(△)	△103,196
未収入金の減少額	97,196
その他の流動資産の増加額(△)	△22,677
仕入債務の増加額	256,851
未払金の増加額	11,200
未払消費税等の減少額(△)	△9,719
未払費用の増加額	65,187
その他流動負債の減少額(△)	△11,455
小計	3,163,776
利息及び配当金の受取額	30,422
利息の支払額	△2,125
法人税等の支払額	△1,018,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,173,462

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年11月20日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,182,177
有形固定資産の売却による収入	55,512
無形固定資産の取得による支出	△10,167
貸付けによる支出	△4,010
貸付金の回収による収入	2,834
差入保証金の支払額	△5,221
差入保証金の返還による収入	101,690
預り保証金の返還による支出	△113,212
預り保証金の受取による収入	16,000
その他固定資産の取得による支出	△3,452
その他固定資産の減少による収入	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,142,132
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△25,000
自己株式の取得による支出	△186,297
自己株式の売却による収入	41,850
配当金の支払額	△272,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442,091
IV 現金及び現金同等物の増加額	589,238
V 現金及び現金同等物の期首残高	7,059,621
VI 現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,648,859